

開創1200年、世界遺産登録10周年の高野山をハイキングで満喫！

ハイキングマップ「高野山町石道^{ちょういしみち}」をリニューアル

さらに大きく、見やすくなりました！

3月25日（月）には難波駅にて配布会を実施

南海電鉄（社長：亙 信二）では、沿線でのハイキングにご利用いただけるよう「南海そう快ハイキングマップ」（全10コース）を作成し、駅での配布、ホームページでの公開を行っています。

このたび、平成26年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年、平成27年の高野山開創1200年記念大法会を迎えるにあたり、同ハイキングマップのうち高野山周辺（和歌山県内）3コースについて、より見やすいイラスト付きの見開きA1版（従来の4倍の大きさに拡大）ハイキングマップとしてリニューアルします。

第1弾として、慈尊院（九度山町）から壇上伽藍の大塔（高野町）までを結ぶ「高野山町石道」をリニューアルし、3月21日（木）から南海沿線各駅（主要駅）パンフレットラックなどへ設置、当社ホームページでの公開を行います。また、同月25日（月）には難波駅にて配布会を実施します（300部限定）。今後、平成25年度中に第2弾「玉川峡/京・大坂道」、平成26年度には第3弾「高野三山・女人道」のリニューアルを予定しています。

古の人々は自らの足で歩いて高野山に登ることで、現世の罪がぬぐわれ極楽浄土に導かれると信じていました。今回のリニューアルを機に、このマップを片手に高野山へ自ら歩いて参詣してはいかがでしょうか。

詳細は次ページのとおりです。



ハイキングMAP「高野山町石道コース」



八つ折でA4サイズに
仕上げました

1. 名 称 ハイキングマップ「高野山町石道」
2. 設置日 平成25年3月21日(木)
3. 設置場所 南海電鉄主要駅
当社ホームページ (<http://www.nankai.co.jp/>) でも公開します。
4. 発行部数 2万部(必要に応じ増刷します)
5. 配布会
 - (1) 実施日時: 平成25年3月25日(月) 14:00~
※限定300部・なくなり次第終了します
 - (2) 配布場所: 難波駅2階中央改札口前イベントスペース
 - (3) ハイキングマップ「高野山町石道」のほか、春の行楽シーズンにぴったりのハイキングやイベント情報盛りだくさんのチラシを配布します。

6. 特 徴



従来のA3サイズからA1サイズに変更。より大きく、見やすくなりました。

町石180基をすべて網羅。1基ずつ現地で実際に確認して場所を記載しています。

大門

高野山の入口にある、一山の総門である大門。開創当時は現在の地より少し下った九十九折(つづらおり)谷に鳥居を建て、それを総門としていたそうです。山火事や落雷等で焼失し、現在の建物は宝永2年(1705年)に再建されました。高さは25.1メートルあり、左右には運長作の金剛力士像が安置されています。国の重要文化財にも指定されています。

金堂

弘化10年(819年)に創建。高野山開創当時は講堂と呼ばれ、平安時代半ばから、高野山の総本堂として重要な役割を果たしてきました。現在の建物は7度目の再建で、昭和7年(1932年)に完了しました。梁間23.8メートル、桁行30メートル、高さ23.73メートルの入母屋造りです。関西近代建築の父といわれる武田五一博士の手によって、耐震耐火を考慮した鉄骨鉄筋コンクリート構造で設計、建立されました。

ハイキングMAP「高野山町石道コース」一部抜粋

史跡名所などの見どころをコース上に写真付きで紹介しているので、歩きながらも名所の解説をすぐに見つけることができます。史跡の由来や言い伝えなどを詳しく記載していますので、町石道をより深く知ることができます。

◆ご参考・「町石道」とは

高野山のふもと和歌山県伊都郡九度山町慈尊院から、かつらぎ町天野を経て高野山へと向かう表参道です。1町(約110メートル)ごとに石の卒塔婆「町石」が慈尊院から壇上伽藍の大塔まで約2.2kmの道のりに180基設置されています。それぞれの町石には密教の諸尊を表す梵字が刻まれており、かつて高野詣での人々はこの石の一つひとつ手を合わせて登ったとされています。



以上

町石